

個 別 事 業 計 画 書

所管部署：市民部 環境課

(単位:千円)

事業名	バイオマス燃料利活用事業	細事業名		新継区分	新規事業	
総合振興計画の位置づけ	第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る	根拠法令等				
	2 資源が循環するまちをつくる					
	(3)エネルギーの有効活用					
事業計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 25 年度	各計画年度ごとの事業概要と目標・事業費	年度	当該年度における事業の実施内容	当該年度に目指す成果・効果	事業費
現状の課題	産業革命以降、世界のエネルギー消費や温暖化の原因であるCO2排出量は増加しつづけており、気候変動・生態系への深刻な影響が懸念されている。省エネルギー対策や新エネルギーの導入、ライフスタイルの見直しなど、複合的な取り組みが求められるが、地域資源や地域特性を考慮した対策も不可欠である。		平成22年度 予算現額			0
			平成23年度	公用車でBDFを使用するための給油スタンドを設置する。	BDF給油スタンド設置 1箇所	3,000
			平成24年度			0
			平成25年度	バイオマス燃料製造施設を整備する。	バイオマス燃料製造施設 一式	50,000
具体的な実施内容	廃食用油から精製されるバイオディーゼル燃料(BDF)を公用車で使用するため、BDF供給施設の整備を行う。 また、低・未利用となっている木質バイオマスの燃料化施設を整備する。					
事業の目的	NPOや市民グループなどで進められてきた廃食用油回収を普及させるため、22年度から市と「環境を守り育てる会」が回収事業をはじめた。製造されたBDFを公用車で使用するため、BDF給油スタンドを整備する。 また、林地残材や剪定枝などの木質資源等を有効利用するため、バイオマス燃料製造施設を整備する。					
事業の効果	市が率先してBDF利用に取り組むことで、CO2排出削減効果が期待でき、廃食油の回収啓発並びに河川・下水道の環境改善効果が期待できる。 また、木質バイオマス等の低・未利用バイオマス資源を燃料として利用することで、CO2の排出削減とともに、新規地場産業の開拓も期待できる。					